

「駅運営体制等の見直し」について集約せず！

4月に提案を受けた、駅運営体制の見直し(委託駅の直営化、販売・改札業務の直営化、スマートサポートステーションの直営化及び拡大)について、集約を求められましたが集約には至りませんでした。

この間、専門協等で協議を行いました。業務速報で報告していますが、直営化のメリットが見えず、地元からの反対があるにも関わらず「SSS」の拡大等問題点を多く抱えています。

直営化するならば、学生が定期券すら購入が出来ない現状、誰でもが自由に利用できる駅体制の改善策が見えない限り、誰のための「直営化」なのか理解できません。

小倉駅170円切符の販売中止が明らかになる！

理由について、不正乗車対策であるそうです。1日で300枚が売れる中、30枚の回収しかないそうで、1割しか利用していないことになります。

JR九州として8月10日まで実施し、引き続き正規切符の購入を訴え続けていきたいとしています。

○ 問題点として

1. 1割のお客さまが不便になります。
2. 本質的な対策をしない限り、次は210円切符が売れることになっていきます。
3. 小倉駅だけの問題なのか？博多駅は問題はないのか！？

◎ 対策として

委託駅を直営化するならば、駅営業時間の延長と無人駅(338駅)の解消！

更にワンマン運転の見直しです！